



～㊦っこりたのしむ ㊧っかりがんばる～

西の子だより

三重西小学校
がっこうつうしん
学校通信
2026/9/11

全国学力・学習状況調査の結果より

6年生を対象に4月23日に実施された令和8年度の全国学力・学習状況調査

(国語・算数)の結果について、本校の強みと課題をまとめました。今後の授業改善や生活指導の充実に生かしていきます。

1 教科についての全国平均との比較

国語・算数ともに全国平均をやや下回る結果となりました。

そこで、個々の問題や領域を詳しく分析し、本校児童の強みと課題を整理しました。

【国語】

- 自分の経験と結び付けて考えを書く問題は全国平均とほぼ同等であり、読んだことを自分事として捉える力が育っています。
- 表現の工夫や話し方の効果を読み取る問題では全国平均を上回り、文章や話の内容を多面的に理解する力が見られます。
- △ 「書くこと」の領域に課題が見られました。目的に応じて情報を整理し、理由や根拠を明確にして表現する力を高める必要があります。
- △ 漢字を文の中で適切に活用する力に課題が見られました。
- ⇒ 書く力や語彙力・漢字力をさらに伸ばしていく必要があります。そのため、理由や根拠をもとに自分の考えを表現する学習を各教科で充実させます。また、読書活動や言語活動を通して語彙を豊かにし、漢字の確実な定着を図っていきます。

【算数】

- 図形領域は県平均を上回り、立体や図形の性質を理解する力が身に付いています。
- 基本的な数量感覚や計算に関する問題では全国平均に近い結果でした。
- △ 「データの活用」の領域に課題が見られ、表やグラフから必要な情報を読み取る力の向上が必要です。

- △ 割合や単位量当たりの大きさなど、数量の関係を考える問題に弱さが見られました。
- △ 知識を活用して説明したり理由を述べたりする問題で全国平均との差が見られました。
- ⇒ データ活用の力や算数的な説明力の向上が課題として見られました。そのため、表やグラフを読み取り、考察する学習を日常的に取り入れます。また、答えだけでなく、「なぜそう考えたのか」を説明する場面を増やし、論理的に考え、表現する力を育てていきます。

2 学習状況調査から見える本校児童の姿

- 「自分にはよいところがある」「先生は自分のよいところを認めてくれている」「人が困っているときは進んで助けている」と回答した児童の割合が全国平均を上回りました。自己肯定感や自己有用感の高さがうかがえます。
- 「学校に行くのは楽しい」「友達関係に満足している」「先生や学校の大人に相談できる」と答えた児童が多く、安心して学校生活を送っている様子がうかがえます。
- 互いの考えを認め合いながら学び合う姿勢や、主体的に課題に取り組み、学び方を工夫しようとする意識が育っています。
- △ 学校外で読書をしない児童が約3割見られ、読書習慣の定着に課題が見られました。
- △ 家庭学習時間は全国平均よりやや短い傾向が見られ、家庭学習習慣の充実が必要です。
- △ 検索や文章作成はできる一方で、ICTを活用した情報整理や発表活動には伸びしろがあります。
- ⇒ 読書活動を充実させ、語彙力や読解力の向上を図ります。また、家庭と連携して家庭学習習慣の定着を進めるとともに、ICTを活用した情報整理・発信活動や話し合い活動を充実させます。さらに、一人一人のよさを認め、自己肯定感を高める取り組みを継続していきます。

学力の面では課題も見られましたが、児童の自己肯定感や学校生活への満足感、教師との信頼関係の高さは本校の大きな強みです。こうしたよさを大切にしながら、一人一人の学力向上につながる教育活動を進めていきます。